



▲福武安文さん

福武安文さん(下延生)が瑞宝双光章、直井玲子さん(西高橋)が旭日単光章を受章し、見目町長がお祝いに訪れました。

福武さんは、昭和54年5月から平成3年4月まで12年町議会議員を務め、平成元年6月から平成3年4月まで副議長として、議会運営の円滑化や議会活動の機能強化に貢献しました。また、昭和33年、当時町内には保育所もない中、のぶ幼稚園を設立、その後園長に就任し、平成26年まで園長を務め、多くの人材を育成してきました。

直井さんは、平成5年10月から平成19年4月まで13年7カ月町議会議員を務め、平成11年5月から平成13年4月まで副議長、その後、栃木県内初の女性市町村議会議長として平成15年4月まで議長を務め、男女共同参画などに率先的に取り組み、女性模擬議会の開催を実現するなど、議会活動の機能強化に貢献しました。

町政発展に多大の貢献をした2人に見目町長から感謝とお礼の言葉が述べられました。



▲直井玲子さん

2/4
2/12

福武安文さん、直井玲子さんが叙勲を受章



2/12
水曜日

認定ひばりこども園相撲大会

認定ひばりこども園で、相撲大会が行われました。各クラスで予選を勝ち抜いた代表の園児らが出場し、熱戦を繰り広げました。対戦が終わるとお互いの健闘をたたえ合い、握手をしました。大根園長先生は「日本の国技を学ぶと同時に勝つうれしさ負けの悔しさを知り、その気持ちを今後の活動に活かしてほしい」と話していました。



2/8
土曜日

2/9
日曜日

道の駅はがでいちご祭り

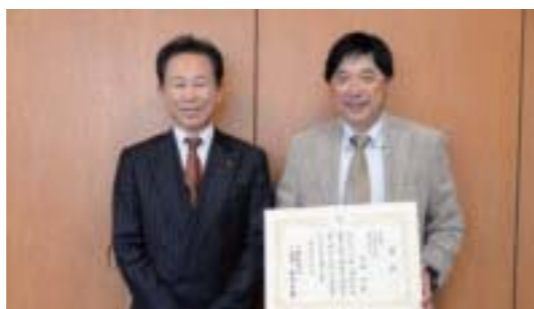
道の駅はがで、「いちご祭り」が行われました。町特産品のイチゴの直売会や手打ちそばの販売があり、大勢の人が足を運びました。そのほかに、とちおとめ25やハップスアンドエーエムビーのミニライブがあり、会場を訪れた人は、新鮮で甘いイチゴを味わいながら、祭りを満喫していました。



2/15
土曜日

観光写真コンテスト表彰式

道の駅はがで、第22回芳賀町観光写真コンテストの表彰式が行われました。町内外から98点にも及ぶ作品が応募され、最優秀賞1点、特選2点、準特選5点、入選などが選ばれました。最優秀賞に選出された島田敏男さん(芳志戸)をはじめ町からも多くの方が表彰されました。入賞した作品は、今後町のPRに活用させていただきます。



2/12
水曜日

栃木県農業大賞特別賞に金田果樹園

栃木県庁で、第1回栃木県農業大賞表彰式が行われました。町からは、特別賞に金田果樹園(祖母井)が選出されました。経営方法、生産技術、販売方法、地域貢献や環境保全に配慮した梨作りが認められ、今回の受賞に至りました。金田果樹園は、梨の旬や食味にこだわり、梨狩りや直接販売を通じて、完熟した梨を消費者に提供しています。



2/3
月曜日

認定こども園のぶ幼稚園 豆まき

認定こども園のぶ幼稚園で、豆まきが行われました。城興寺へ移動し、各クラス集合写真を撮りました。一人一人手作りの鬼の帽子をかぶり、「福は内、鬼は外」と元気に声を出しながら豆をまきました。最後に先生から福まきが行われ、園児らは充実した節分の一日を過ごしました。

TOWN REPORT

《タウンレポート》

SPRING
2020.4



2/6
木曜日

芳賀地方露地野菜研究会

栃木県が推進する「園芸大国とちぎ」の実現に向けて、芳賀地区における加工や業務用の露地野菜の産地形成を目的に、芳賀地方露地野菜研究会が行われました。農業者トレーニングセンターで、茨城県つくば市有限会社ワールドファームを講師に講演が行われ、その後キャベツの試作ほ場を見学しました。今後の農作業におけるヒントを得ようと、参加者は、多くの質問を投げかけていました。



2/1
土曜日

はがまる料理教室 「魚をさばいて調理してみよう」

生涯学習センター調理室で、講師に居酒屋経営助川貴弘さん(祖母井)を招いて、アジ料理に挑戦しました。うろこを取って三枚に下ろしたアジを細かくたたき、なめろうにして丸め、ハンバーグにしました。ご飯とすまし汁を合わせて、みんなで試食しました。参加した子ども達は「初めて魚をさばいてみて、難しかったけれど、楽しかった」と充実した活動となりました。



2/7
金曜日

令和元年度芳賀地区ふれあい学習ネットワーク

真岡市青年女性会館で、令和元年度芳賀地区ふれあい学習ネットワークが行われました。芳賀郡市各地域の活動紹介のあと、「下延生地域交流会について」と題し、下延生自治会手塚真会長が先進的事例発表を行いました。世代間交流の場が減少していることに対し、地域の各団体が一体となり、地域の活性化を促すため多くの行事を行っていることや、交流会を開催するまでの経緯について発表されました。



2/3
月曜日

祖母井保育園豆まき

祖母井保育園の園児たちが、保育園や祖母井神社で豆まきを行いました。年少・年中・年長組の園児たちは、祖母井神社の本殿前でお払いを受けた後、「鬼は外、福は内」と鬼に向かって豆を投げました。0～2歳児は、保育園で節分に関する紙芝居を鑑賞したり、歌を歌ったりしました。